



99th Feature Exhibition

Kokeshi part II

Zogatta, Tsuchiyu and Nakanosawa

第99回企画展
遠川田と土湯、中ノ沢

世界の生活文化と考古美術の博物館

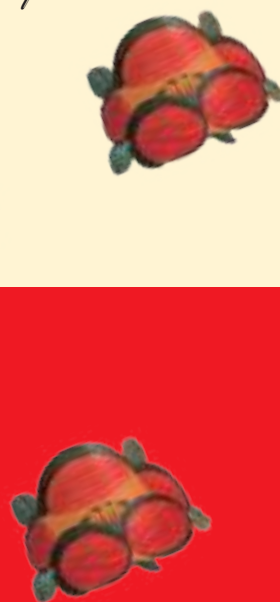
天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

会場 3階企画展示室

こけし II



2025年

7月23日(水)～

9月8日(月)

【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

【休館日】

8月5日、12日～17日、19日、9月2日

【入館料】

大人500円、団体(20名以上)400円

小・中・高生300円(学校単位の団体は

無料・要事前申込)

※障がい者とその介護者1名は無料

受付カウンターに障がい者手帳等またはマイIDをご提示ください

【主催】天理大学附属天理参考館
【後援】天理市・天理市教育委員会・
歴史街道推進協議会

【協力】日本人形玩具学会
仙台郷土玩具の会
青葉こけし会
ふくしまこけし談話会
こけしと語らう会
大阪こけし教室
郷土玩具文化研究会



こけし II 遠刈田と土湯、中ノ沢

東日本大震災から14年が経ちました。今回の展示会は、古来豊かな文化を育んできた東北地方、この美しい地域の復興を祈念して、こけしを取りあげます。

こけしは、豊かな森林資源を有する東北地方を代表する木の郷土玩具です。

その起源には諸説ありますが、江戸時代に木地師が湯治場のみやげものに作ったのが始まりではないかとされています。頭と胴のみというシンプルな形状ですが、東北6県に分布する産地毎に伝統的な約束事があり、それぞれ個性的です。それぞれの特徴を、師弟間で継承されてきた技法や産地特有の技法のつながりで分けて系統と呼びますが、その12ある系統のうち、過去に開催した「こけし」展では、ともに宮城県系統である鳴子系と弥治郎系をご紹介しました。

この「こけしII」では、宮城県の遠刈田系と福島県の土湯系、中ノ沢系に光を当て、比較から読み解く展示を試みます。系統毎に特徴的な胴模様でも、師匠と弟子の筆致の違いや、本人自身の経年によるモチーフの変化にご注目ください。父子の作風の違い、兄弟の色使いの差、本人の新たな挑戦など、それぞれの作品を比較することで読み解いていただきたいと思います。

今回の展示では、昭和戦前作を中心に、3系統を代表する魅力的な東北地方のこけしが勢揃いいたします。東北から遠く離れた関西地方の博物館で屈指のこけし収蔵点数を誇る当館「奈良では」の「天理のこけし」をぜひお楽しみください。

99th Feature Exhibition

Kokeshi part II

Togatta, Tsuchiku and Nakanosawa

表面上段左から：製作工人名

高橋忠蔵、小幡福松、佐久間由吉、佐久間

米吉、佐久間衆吉、阿部金一【土湯系】

岩本芳蔵、酒井正進、柿崎文雄【中ノ沢系】

下段左から：

佐藤巳之吉、佐藤友晴、佐藤丑蔵、佐藤門

吉、佐藤松之進、佐藤直助、佐藤秀一、

佐藤三蔵、佐藤廣喜【遠刈田系】

梅：菅原庄七【遠刈田系】

桔梗：酒井正進【中ノ沢系】

裏面

① 佐藤直助、佐藤廣喜、佐藤巳之吉、

佐藤松之進、佐藤好秋、佐藤門吉

【遠刈田系】

② 岩本芳蔵【中ノ沢系】

③ 西山勝次、西山勝次、佐久間衆吉、

佐久間米吉、佐久間由吉、佐久間虎吉

【土湯系】

全て 天理参考館蔵品



① 遠刈田系こけし「コガスちゃん」。
三日月型の切れ長目、なで肩、細身

いずれも 講師 幡鎌真理(当館学芸員)

会場 企画展示室
9月8日(月) 午後0時30分～1時30分

会場 研修室 定員100名(当日先着順)

マンデーターク

「師匠と弟子、こけしを徹底比較して、見ると
7月23日(水) 午後1時30分～3時
それぞれの特色」
会場 研修室 定員100名(当日先着順)

【関連イベント】
トーク・サンコカン 講演会



② 中ノ沢系こけし「タコボーズ」。
大きく見開いた目と華やかな胴模様

わたしたちに会いに来てね！
みんな待ってるよ～



③ 土湯系こけし「キボコちゃん」。
頭大きめ、ややたれ目、シマ模様

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

天理参考館 寄付のご案内

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

https://www.sankokan.jp/

天理参考館

天理参考館

ウェブサイト

検索

アクセス JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分

西名阪天理インターより南へ約3km

※7月25日～8月3日、25日、26日は駐車場への入場・駐車が規制されますので、公共交通機関をご利用ください。

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。

詳細は右記から専用サイトをご覧ください。



次回予定

天理大学百周年記念・天理図書館開館95周年記念展「漱石・子規・鷗外—文豪たちの自筆展—」

2025年10月15日(水)～11月17日(月) 会場：天理参考館